

変形性股関節症

はじめに…

股関節に起こる変形性関節症で、なんらかの原因で股関節の関節軟骨に摩耗や損傷が発生し、病気の進行に伴って、関節の変形が著しくなります。本疾患は、変形性関節症で膝に次いで多く、高齢の女性に多く見られます。

症状

- ・動作開始時の痛み
- ・長時間歩けない
- ・安静時痛や夜間痛を伴う
夜痛みの為、睡眠が障害される
- ・日常生活動作での障害
(例)片足立ちができない
靴下の着脱が困難
階段の上り降りが辛い
爪を切れない など
- ・痛みが腰より下にある

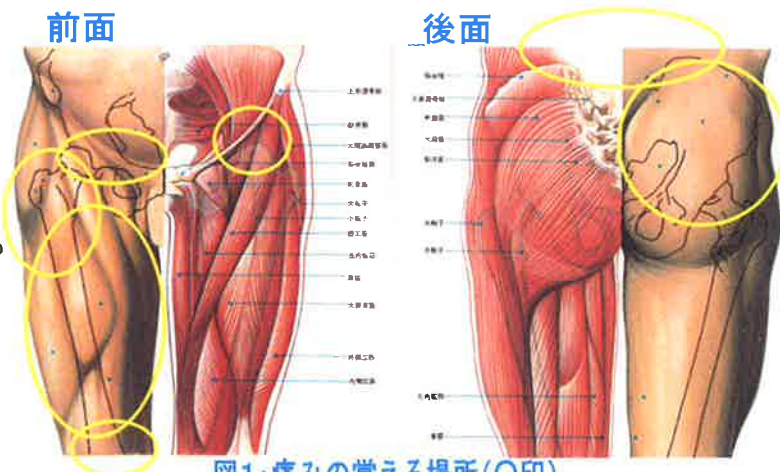


図1: 痛みの覚える場所(○印)

※変形性股関節症の痛みが起こる場所は、股関節の場所に限定されているものではなく、股関節以外の場所にも痛みを覚える場合がよくあります。(図1参照: ○印)

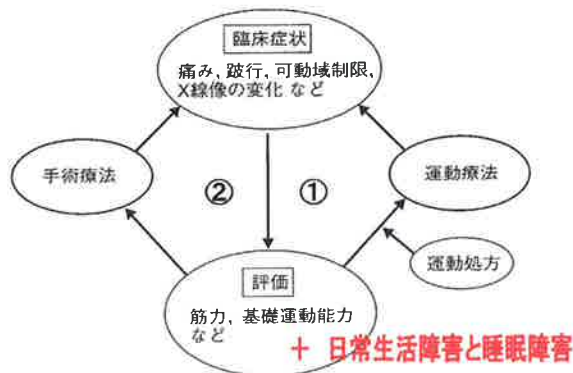
治療

治療は保存療法が第一選択です。そこで、積極的に運動療法を行っていただきます。運動療法は筋力低下の防止や、関節を動かすことによって体温を産生し体液循環の促進をします。また、関節の運動支持や関節への衝撃吸収を目的に行います。

たとえ、レントゲンなどで変形性股関節症が進行してるからといって手術をしなくてはいけないということはありません。目標はあくまでも、日常生活が支障なく過ごせることです。

それでも、歩くこともままならない、痛みの為に睡眠が障害される、日常生活が障害されるなどといった方には手術が必要になってきます。

まずは、運動療法をしっかりとがんばって行いましょう！！



不明な点がございましたら、お気軽にスタッフにご相談下さい

古東整形外科